

令和 3 年 3 月 5 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 新志会
代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和3年2月27日（土） 14時30分から16時30分

2 活動場所

①奥州市水沢地区活動センター
奥州市水沢聖天 85-2

3 参加者

山谷 仁、柳橋 好子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 新志会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	新型コロナウイルス感染症対策等の学習
活動概要	<ul style="list-style-type: none">● 実施日 令和3年2月27日(土) 14時30分から16時30分 ● 場所 岩手県奥州市水沢聖天85-2 水沢地区センター ● 内容 (資料別紙) 講演及び意見交換会 講師: 仲本 光一 氏 県南広域振興局保健福祉環境技監兼奥州保健所長・一関保健所長 演題: 行政医師の立場から見た世界と日本 ～ 災害対策・新型コロナウイルス対策 ～
活動成果	<ul style="list-style-type: none">● 特記事項 講師の仲本氏は、世界各国で外務省医務官として勤務。大規模災害やテロ等における邦人ケアにかかわってきた。安全は環境に左右され、恵まれた日本の環境を再認識したとのこと。 また、天然痘に始まり、コレラ・スペイン風邪・SARS・エボラ出血熱等々、感染症との果てしなき戦いの歴史にも触れ、限られた医療資源における賢い患者になるための方法なども話された。 新型コロナウイルス感染症に関することで、特記すべきことは「課題への解決策: グローバルな団結」であるとのこと ● 所感等 テロやハワイ沖で発生した「えひめ丸事故」の被害者遺族支援など、信じられない体験からの話を淡々とされた。恵まれた環境の日本の健康教育の乏しさ「患者学」の重要性を説かれたのに納得。 感染症コントロールのポイントや新型コロナウイルス感染症に関連する臨床検査の経時的変動などは、あまり目にする事のない情報であった。 医学的なことだけでなく、『もう一つの感染症として「コロナはテレビから

感染します。マスクをするがテレビを消すのが特効薬です。」私たちが直面している最大の危険はウイルスや災害ではなく内に抱えた魔物、すなわち憎悪と強欲と無知かもしれません。』という言葉があり、不安や差別が病気(ウイルス)に力を与えることを示唆していた。

岩手に来て知ったという後藤新平の業績(北里柴三郎伝染病研究所設立。陸軍検疫部にて23万人の日清戦争帰還兵の検疫を2か月で完了。大病院設立、労働疾病保険設立。)については、地元に住みながら詳細まで知らず、先人の偉業を再認識した。

コロナ禍で、視察研修の機会がなかったが、時節にあった有意義な研修であった。